

平成22年国勢調査・産業基本集計結果に基づく就業者割合の分析

平成24年6月27日
戦略企画部統計課

1 はじめに

平成24年4月24日に総務省から平成22年国勢調査の産業基本集計結果が公表された。そのうち、産業別の15歳以上就業者について、全国、三重県及び県内各地域間の比較による分析を行った。

※「就業者」は平成22年9月24日から30日までの1週間に仕事をしていた人であり、「産業」はその人が実際に仕事をしていた事業所の主な事業の種類によって分類したもの。

※就業者は県外、地域外への勤務者もあるため、当該地域内の産業構造がそのまま反映されるものではない。

《概要》

- 15歳以上就業者数は全国的に平成7年がピークで減少傾向。三重県は南部地域の減少幅が大きい。
- 製造業就業者割合は、三重県は23.8%で全国(16.1%)より7.7ポイント高く全国6位。全国1位は滋賀県で26.5%。県南部地域は16.0%で全国と同レベル。県南部地域以外は25.5%で全国1位の滋賀県に次ぐレベル。
- 県南部地域では県全体と比べ農林漁業、建設業、宿泊業、飲食サービス業の割合が高い。

(平成17年との比較)

- 全国的に「医療、福祉」が大きく上昇。
- 三重県は「医療、福祉」、「運輸業、郵便業」の増加率が全国より大きく、「農業、林業、漁業」の減少率が全国よりも大きい。
- 「製造業」は全国の減少率(8.2%)と比べ三重県の減少率は5.9%と小さいが、南部地域は18.3%と大きく減少。

<参考:労働力状態> ※数値は三重県

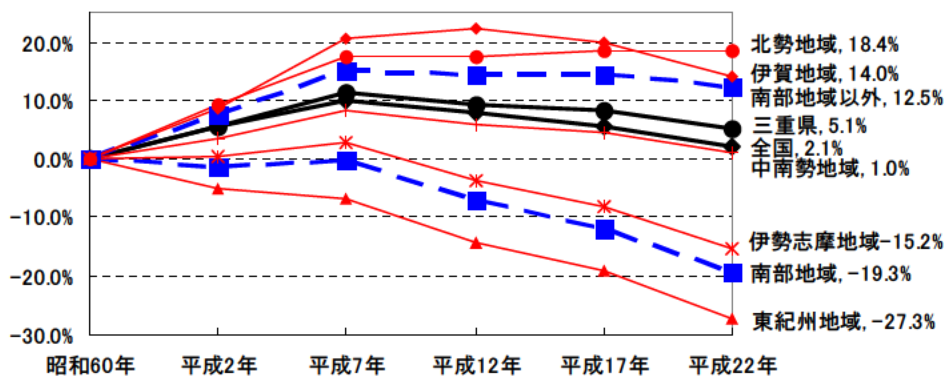


※労働力率=労働力人口/15歳以上人口:59.3%

2 産業別の就業者について

(1) 就業者数の増減推移

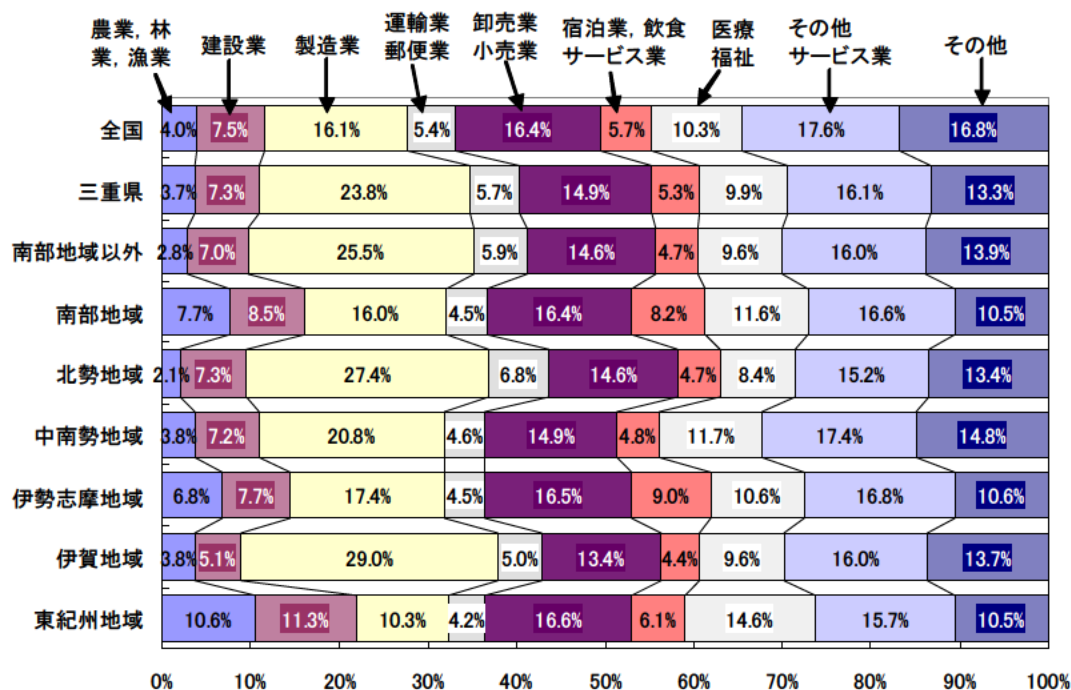
昭和60年から平成22年まで25年間の全就業者数の増減推移を全国、三重県、県内地域別にみると、次のグラフのとおり。



- 全国、三重県全体としては平成7年をピークに減少を続けている。
- 県南部地域は減少率が19.3%と大きく、特に東紀州地域、伊勢志摩地域が大きく減少。
- 北勢地域は減少していない。伊賀地域は平成12年から減少に転じている。

(2) 産業別の就業者割合

産業分類別にみた県内地域別の就業者割合は、次のグラフのとおり。



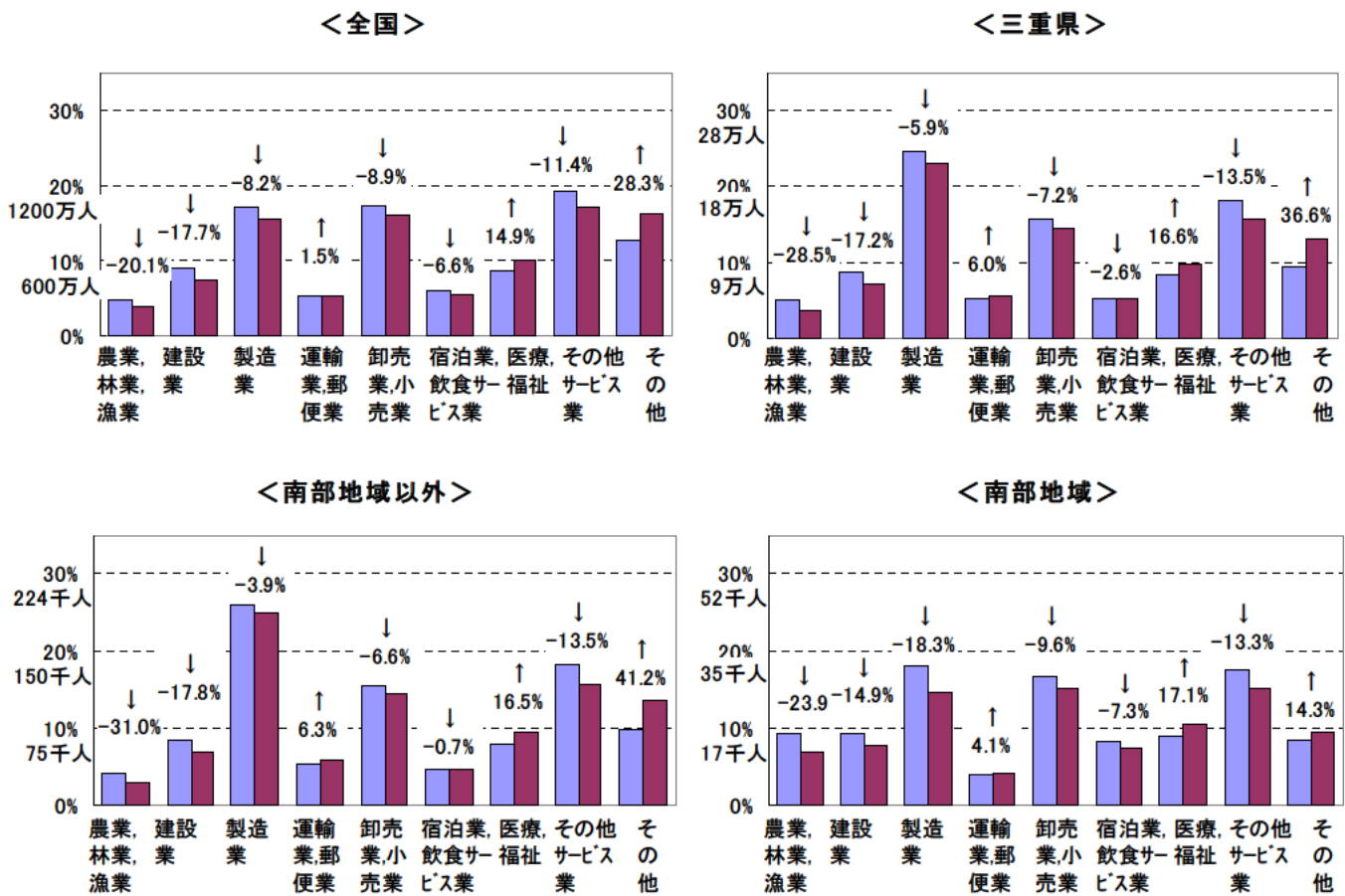
- 南部地域は農林漁業が7.7%、建設業が8.5%、宿泊業, 飲食サービス業が8.2%と高い。
 - 特に、伊勢志摩地域は宿泊業, 飲食サービス業が9.0%と高い。
 - 東紀州地域は製造業が低い分、農林漁業が10.6%、建設業が11.3%、卸売業, 小売業が16.6%、医療, 福祉が14.6%とこれらの割合は県内で最も高い。
- ※製造業に関する比較については後述

(3) 平成17年と比較した産業別の就業者数の変化

平成17年から平成22年の5年間で産業別の就業者数の変化を全国、三重県、県内地域別にみると、次のグラフのようになる。

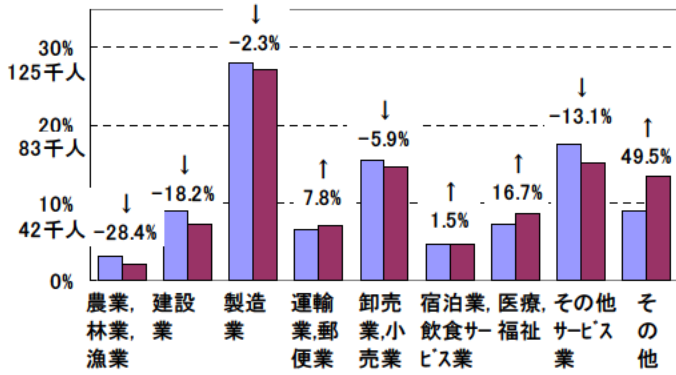
注1) 縦軸の%は平成17年の割合。平成22年は平成17年との実数比較である。
 注2) 「その他サービス業」に含まれる主な業種：
 * 教育、学習支援業 * 生活関連サービス業、娯楽業 * 学術研究、専門・技術サービス業 * 職業紹介・労働者派遣業
 注3) 「その他」に含まれる主な業種：
 * 公務(他に分類されるものを除く) * 金融業、保険業 * 情報通信業 * 不動産業、物品賃貸業
 ※全国的に「その他」の増加が大きいのは、調査方法の変更(郵送)等により分類不能の産業が増えたことによる。

■平成17年 ■平成22年

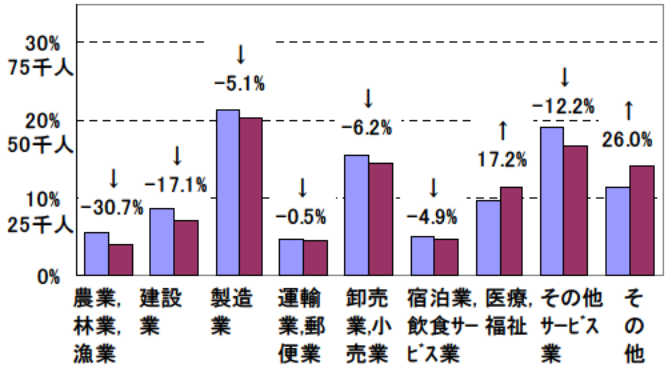


- 全国、県内全地域を通じて、「医療、福祉」が大きく上昇している。県内では南部地域の上昇率が17.1%と大きく、中でも伊勢志摩地域は23.1%と大きく上昇。一方、東紀州地域は従業者割合が元々高いこともあり上昇率は4.9%と小さい。
- 「製造業」は全国の減少率(8.2%)と比べ三重県の減少率は5.9%と小さいが、南部地域は18.3%と大きく、特に東紀州地域は27.0%と大きく減少している。
- 「運輸業、郵便業」は全国(1.5%)と比べ三重県の上昇率は6.0%と大きく、特に伊賀地域は16.5%と大きく上昇している。
- 「宿泊業、飲料サービス業」は全国(6.6%)と比べ三重県の減少率は2.6%と小さいが、東紀州地域は11.5%と大きく減少している。

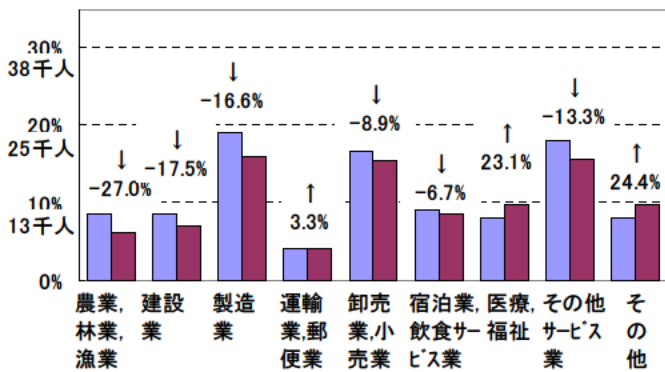
<北勢地域>



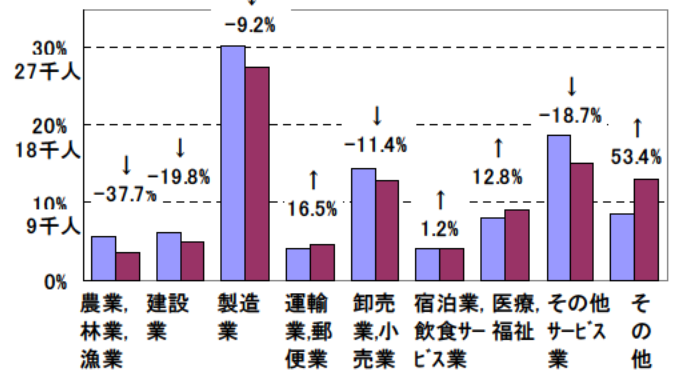
<中南勢地域>



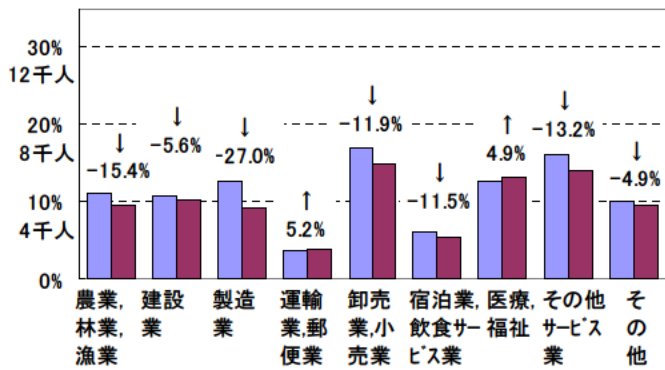
<伊勢志摩地域>



<伊賀地域>



<東紀州地域>



業種別増減率

	農業、林業、漁業	建設業	製造業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	宿泊業、飲食サービス業	医療、福祉	その他のサービス業	その他	総数
全国	-20.1%	-17.7%	-8.2%	1.5%	-8.9%	-6.6%	14.9%	-11.4%	28.3%	-3.1%
三重県	-28.5%	-17.2%	-5.9%	6.0%	-7.2%	-2.6%	16.6%	-13.5%	36.6%	-2.9%
南部地域以外	-31.0%	-17.8%	-3.9%	6.3%	-6.6%	-0.7%	16.5%	-13.5%	41.2%	-1.6%
南部地域	-23.9%	-14.9%	-18.3%	4.1%	-9.6%	-7.3%	17.1%	-13.3%	14.3%	-8.4%
北勢地域	-28.4%	-18.2%	-2.3%	7.8%	-5.9%	1.5%	16.7%	-13.1%	49.5%	-0.1%
中南勢地域	-30.7%	-17.1%	-5.1%	-0.5%	-6.2%	-4.9%	17.2%	-12.2%	26.0%	-3.1%
伊勢志摩地域	-27.0%	-17.5%	-16.6%	3.3%	-8.9%	-6.7%	23.1%	-13.3%	22.4%	-7.7%
伊賀地域	-37.7%	-19.8%	-9.2%	16.5%	-11.4%	1.2%	12.8%	-18.7%	53.4%	-5.0%
東紀州地域	-15.4%	-5.6%	-27.0%	5.2%	-11.9%	-11.5%	4.9%	-13.2%	-4.9%	-10.3%

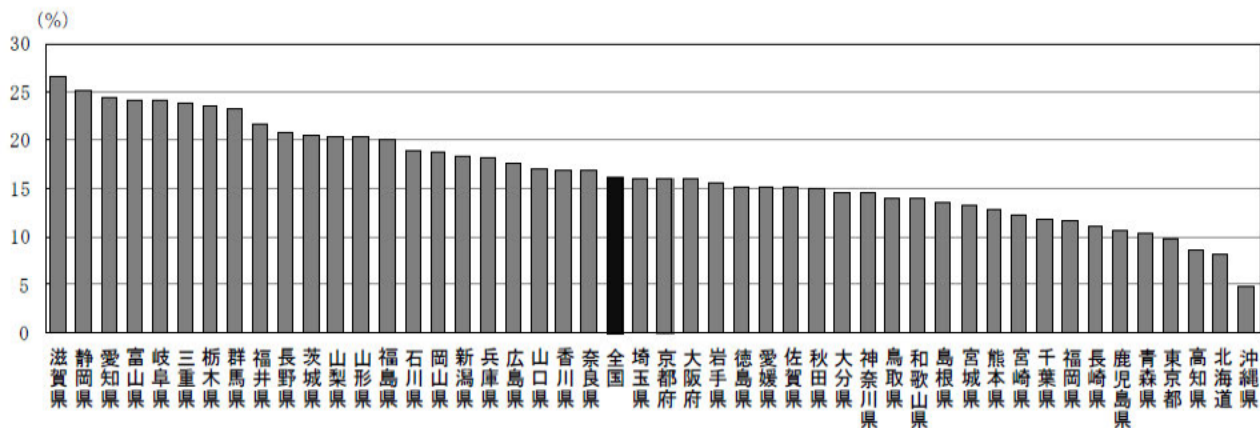
3 製造業の就業者について

(1) 製造業就業者割合の全国比較

15歳以上就業者のうち製造業の割合は、三重県は23.8%で全国6位であった。全国では滋賀県が26.5%と最も高く、次いで静岡県が25.1%、愛知県が24.5%、岐阜県も24.1%で5位となっている。（全国は16.1%）

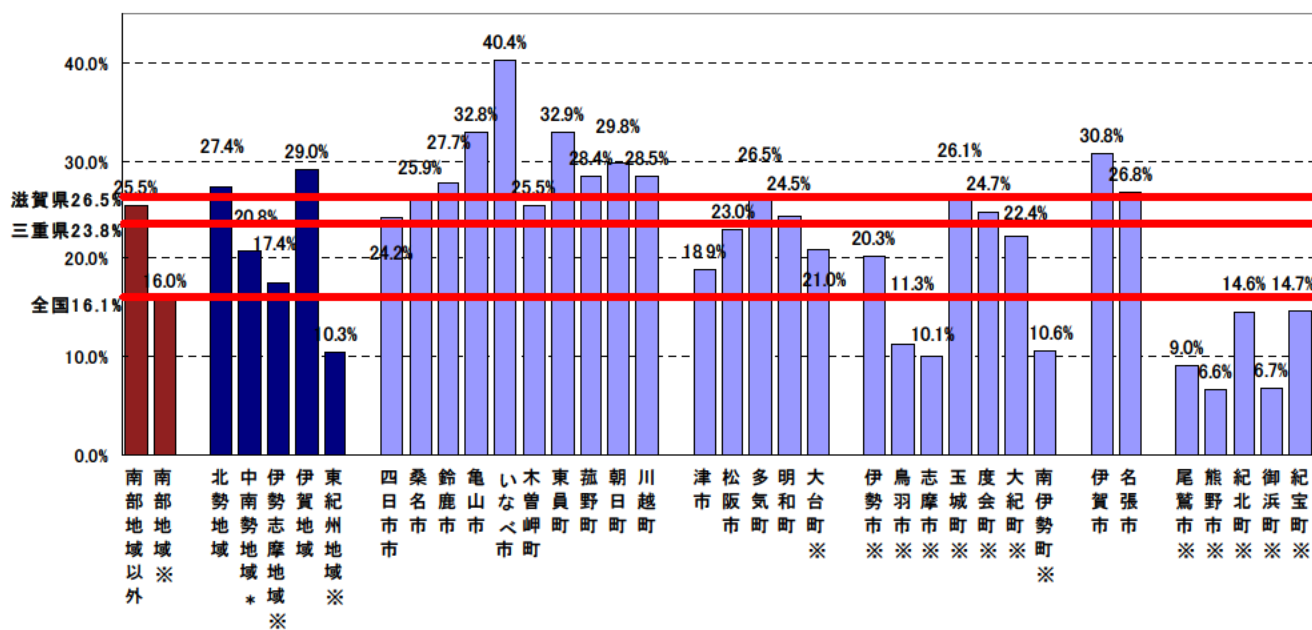
《4月24日総務省発表資料より抜粋》

図IV-2 15歳以上就業者に占める「製造業」の割合—都道府県（平成22年）



(2) 三重県の地域・市町別 製造業の就業者割合(15歳以上)

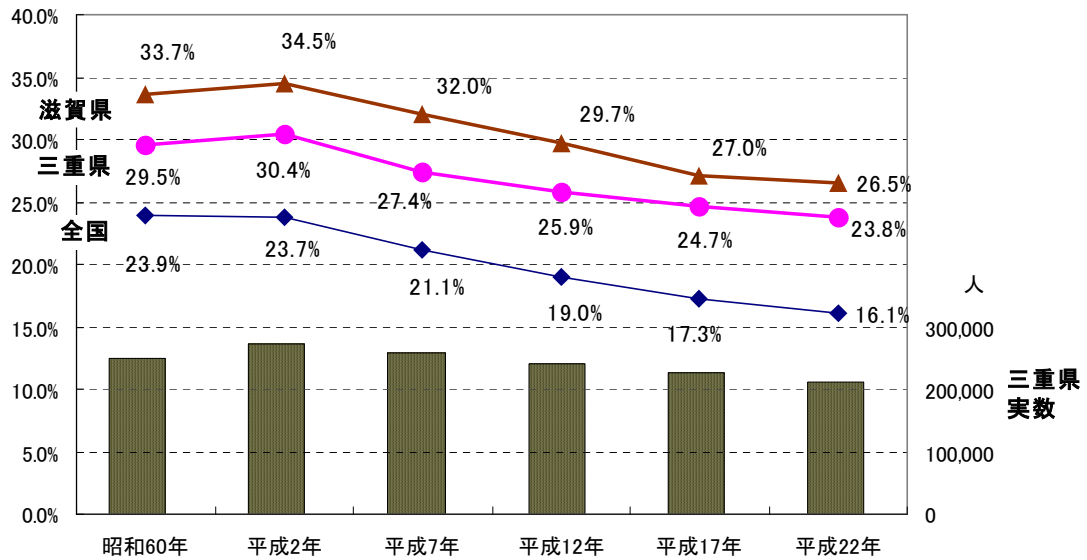
製造業の就業者割合を県内の地域・市町別に全国、滋賀県と比較すると、次のグラフのようになる。



- 県南部地域は16.0%でほぼ全国(16.1%)と同レベル。県南部地域以外は25.5%で、全国1位の滋賀県に次ぐレベル。
- 北勢地域(27.4%)、伊賀地域(29.0%)は滋賀県よりも高く、東紀州地域は10.3%とかなり低い。
- いなべ市は約4割が製造業就業者

(3) 製造業就業者の推移

製造業就業者の年次別推移を、三重県、全国、滋賀県で見ると、次のグラフのようになる。



- 全国的に製造業就業者割合は平成2年のバブル期をピークに減少を続けている。
- 全国や全国1位の滋賀県と比較して、三重県は減少がやや緩やか。